

心に残る文化財子ども塾 浜田市立松原小学校

1. 活動の概要

6月22日（火）、浜田市立松原小学校の6年生24人を対象に『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。まず、古代文化センター職員が小学校を中心とした地図を子どもたちに配り、古墳や浜田城跡、やきもの（石見焼）をつくったところなど、数多くの遺跡が小学校のまわりにあることとお話しました。また、近くのお寺にある鎌倉時代の仏像（重要文化財／心覚院所蔵阿弥陀如来立像）の写真も掲げ、紹介しました。

続いて、浜田城跡出土の5種類の瓦を子どもたちに見てもらいながら、職員がその名前や屋根への置き方などを説明しました。これらは浜田市教育委員会の発掘調査で出土し、浜田市浜田城資料館にご協力いただいて準備したものです。

そして、大仏パネルの体験です。職員が大仏のポーズや完成図などを示したのち、子どもたちは、体育館中に散らばったパネルを集めて組み合わせていきました。パネルを整えて奈良の大仏がきれいに仕上がると、子どもたちは2階から眺めて、実物大の大仏の大きさを実感していました。

2. 活動の様子



「発掘すると瓦がみつかりました」



パネルを探して並べていきます



「大仏は上から見ると大きいね」



みんなで記念撮影

3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

<一番心に残ったこと>

- ・(大仏が) 全長18mで手のひらだけでも3mあるということ。
- ・奈良の大仏のパネル作りの時にはじめて大きさを知ったのでびっくりしたしすごかったです。
- ・上から見た大ぶつパネルがすごく大きくて、ビックリしたこと。
- ・奈良の大仏パネルがみんなと協力してできた。
- ・実物の大きさの大仏パネルをつくったことです。理由は、とても大きくておどろいたし、みんなで協力できたからです。
- ・松原小付近に古ふんや土器をつくっている場所があるということを知ったこと。

<もっと知りたいこと>

- ・ほんものの大仏を見てみたい。
- ・奈良の大仏のこうそう(構造)。
- ・大仏をつくった費用や、作られた年です。
- ・もっと知りたいことは、日本にはどんな大仏があるのかです。
- ・奈良の大仏などが何のために作られたかを知りたい。
- ・違うパネルもできたらちょうせん(挑戦)したいです。
- ・浜田の遺せきや、焼き物をつくっているところについてもっと知りたいです。

2) 担任の先生から

<全体を通してよかった点>

- ・自分たちの住んでいる地域に、遺跡や古墳があり、そこから見つかった物があることを知り、子どもたちが興味を持てたこと。
- ・大仏の実物大パネル作りを行い、今後大きさのイメージを持ちながら社会科の大仏づくりの学習を行えること。

3) 古代文化センターから

松原小学校の近くには、日本遺産の外ノ浦や浜田城跡などさまざまな文化財があります。児童の皆さんに興味を持ってもらえてうれしく思います。浜田市浜田城資料館でも詳しく紹介されていますので、訪れてみてくださいね。

大仏パネル体験は、1m四方のパネル200枚近くを組み合わせ、実物大の奈良の大仏を完成させるものです。時間内にうまく組み上げられた皆さんの協力・チームワークには感心させられました。実際の奈良の大仏を見たことがないと事前に伺っていただけましたので、その大きさは印象深いものだったと思いますし、そのイメージが今後の学習に役立つことを願っています。